

お子さんが どもりはじめたら



NPO 法人全国言友会連絡協議会
社会的支援推進委員会

幼児期の保・護・者・園の先生方へ

安心して話せる環境づくりを

周囲が吃音について理解を深め、適切な関わりを行うことは、吃音のある子どもにとって大きな支えとなります。このパンフレットの内容を実践したり、周囲に吃音の理解を広げたりしながら、吃音があってもびのびと安心して話せる環境づくりを目指しましょう。

園の先生、お友だちの保護者、祖父母や習いごとの先生など、まずは周りの大人に吃音について理解してもらうことが大切です。その際は、このリーフレットをぜひご利用ください。

各地で開催されている親の会では、思いを分かち合える親仲間と出会えます。

吃音のあるお子さんの子育てで心配が続くときは、専門家（言語聴覚士）に相談したり、親の会とつながりをもったりしながら、お子さんに寄り添うヒントを得て、ともに歩んでいきましょう。



周囲の理解は
吃音のある子どもへの応援になります。

制作：NPO 法人
全国言友会連絡協議会
社会的支援推進委員会

ホームページ <https://www.zengenren.org>
Mail info@zengenren.org



このリーフレットの
ダウンロードはこちらから

令和6年8月21日（第2版）

監修：富里周太（医師・慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室）
田宮久史（言語聴覚士・JA 岐阜厚生連 飛騨医療センター 久美愛厚生病院）
安井美鈴（言語聴覚士・大阪人間科学大学保健医療学部言語聴覚学科）
戸田祐子（きつおん親子カフェ代表）